

今、「防災」について考えよう。

山本三季雄が見た、
気仙沼、
松島、
庄原。

安心・安全、進化する街 ころ。

「ころ」では、皆様が日々安心して暮らしていただけるように
開発当初より「安全な街づくり設計」を基本理念に
災害に強い街を目指し、街づくりを進めてきました。
「ころ」はこれからも、さらに暮らしやすい街へと進化します。

フラットな街、ころ



HFM
hiroshima-fm

やさしい、たのしい、うつくしい街。
西風新都
セントラルシティ
COCORO
ころ

ごあいさつ

東日本大震災発生から125日経った宮城県気仙沼市、松島町、
そして、1年前の7月に豪雨災害を受けた広島県庄原市を訪ねました。
今回の訪問は、「現状を見て伝える」だけでなく、家族や肉親とどのように避難し再会できたのか、
日常の決めごとは発揮できたのかを知るためのものでした。

別々の場所で日常を過ごしている「家族」に突然災害が襲った時、
再会を果たすためにどうしたらいいのか、被災された方々のお話は様々でした。
それだけに「家族」にとっての「防災」は、モノや知識だけでは解決できるものではないと感じました。
できるだけ具体的に想像(想定)しながら、普段から話し合うことが、
「家族」のルールを自然に作っていくものかもしれません。

本当に話し合うためには、まず何かを「感じる」ことだと思います。
自分の大切なものに対して「感じる」ために、現地で撮影した写真をどうぞご覧ください。

被災地で感じたことをラジオで少し話しました。あるリスナーから
「テレビで見えてきた映像や報道より身近に感じた」というメールをいただきました。
大切な人と同じよう、ラジオが「人に寄り添うメディア」であることを願います。

広島FM 山本三季雄



Contents

プロローグ 02

 気仙沼 08

家族 12

コラム:01 災害派遣活動と家族 16

漁業 18

コラム:02 広島カキ業者が宮城へ 20

ラジオ 22

 松島 26

 庄原 30

今、「防災」について考えよう 36

家族 42

コラム:03 宮城取材 後記 44

エピローグ 46



広島FMパーソナリティ
山本 三季雄
Mikio Yamamoto

1954年6月18日広島市出身。
1982年の広島FM開局以来、
ラジオパーソナリティとして
さまざまな番組を担当してきた。
東日本大震災の報道を経験し、
最も気になったのは「家族」のこと。
今回は、ラジオパーソナリティとして、
また、妻を持ち、子を持つ
一人の父親として、
宮城県に暮らす「家族」を訪ねました。